

今日の一問 (やまだ塾)

(2008年5月5日掲載)

No.8	適切な援助関係を形成するために、福祉専門職に求められている「自己覚知」とは何か。
解答	<p>・援助者は自身の影響力を活用して援助する。援助者自身の価値基準や感情が影響することで、「ありのままの他者」を理解する妨げになることがある。</p> <p>・社会福祉実践において、専門職としての援助者は、自身の傾向などを熟知し、自身について振り返ることにより、独善的で押し付け的な援助を避けなければならない。援助者が自己の価値観や感情などについて理解しておくことを「自己覚知」という。「自己覚知」により、先入観をなくし、感情をコントロールし、さまざまな角度から問題をとらえることができ、「適切な援助関係を形成する」ことにつながっていく。</p> <p>・「自己覚知」は、交流分析(TA)や感受性訓練(ST)の活用や、スーパービジョンの実施によって促進される。</p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.